

祝 市川市市制施行60周年  
平成6年度市川市文化会館主催公演

# 市川第九



1994

平成6年12月18日(日)

14:00開演

市川市文化会館大ホール

主催：市川市文化会館

協力：市川市合唱連盟

市川交響楽団協会

# 「市川・第九」によせて



市川市長

**高橋國雄**

市川市が市制を施行して今年でちょうど60周年になりました。

これを祝して市川市合唱連盟の皆様が、広く市民の皆様に呼びかけられ、ベートーヴェンの第9交響曲「合唱付」を演奏されると聞いてとても嬉しく思いました。

市制60周年を祝して数々の行事やイベントが行われましたが、このたびの「第九」演奏会は、まさに60周年記念行事のとう尾を飾るにふさわしいものだと思います。

市川市文化会館の晴れの舞台に、フルメンバーのオーケストラを前に、勢ぞろいした合唱団の美声が、歓喜の歌をこだまさせるとき、本市の60周年祝賀はクライマックスを迎えることと思います。

今年は暑かった長い夏でしたが、その酷暑を克服されて頑張った練習の成果を思う存分発揮されて、私たちに感動を与えていただきたいと思います。公演のご成功を心からお祈り申し上げます。



千葉県芸術文化団体協議会々長  
市川交響楽団協会理事長

**村上正治**

この度、市川市市民によるベートーヴェンの第9交響曲が、市川市制60周年を記念して開催されます事は、音楽芸術の振興を願って活動して参りました小生にとっては、誠に嬉しい限りです。感謝の他ありません。

千葉県は、私が市川市民になりました55年前には想像もできない後進振りで、クラシック音楽会などなく、東京へ行かされました。しかし今日では、県内でも良い音楽に触れられ、80のアマチュア・オーケストラや600を越す吹奏楽団がある県に発展し、質も高く、全国を指導する様になりました。合唱も盛んになり、市川も千葉県内の都市合唱連盟では第

1位に当たる団体数を擁する市になり、吹奏楽やオーケストラと共に青少年により感化を及ぼしてきました。

この時期に、市制への感謝を込めて「歓喜の歌」をテーマにした第9交響曲を市民の合唱とオーケストラ市響（いちきょう）で演奏できることは、時期を得た大行事だと思います。どうぞ、出演者の方々は最善を尽し、御集り下さった聴衆の皆様と共に喜んで戴きたいと存じます。今後もクラシック音楽による喜びの輪を拡げ、明るい清潔な暖かな社会を築いて、全世界にも貢献できる様になりたいものです。ご成功を祈り、お祝詞と致します。

# ごあいさつ



市川市文化会館理事長

## 福多 稔

昨年の秋、市川市合唱連盟と市響の方々から「来年は市川市市制施行60周年なのでお祝いに、できるだけ多くの市民に集まってもらい『第九』の演奏会をやりたい。については文化会館も応援してくれませんか。」というお話をございました。『第九』演奏会というのは、この市川市のまわりでも毎年多数開催されているようですが、会館オープニング記念で、この市川市合唱連盟と市響という組合せで行なわれて以来、会館が直接かかわって行なうのははじめての試みです。

合唱練習ひとつをとっても、これがなかなか難事業であることは、みなが認めるところです。

それでも、市川市市制施行60周年を市民の立場からお祝いしたい、という皆様の熱意をなんとか結実させたいと、文化会館もお手伝いすることにいたしました。

練習は5月から始まり、ことの外暑かった夏の

日々も休みなく続きました。歌う方も大変でしたが、指導の先生方や、お世話を引き受けくださった皆様方のご苦労にははかり知れないものがあります。

総勢510余人という合唱はこの近隣ではあまり聞かれない大合唱です。またオーケストラも120余人でこれも大編成となっております。

合唱もオーケストラもアマチュアという難しい演奏の指揮を引き受けてくださった山下先生には、日本国内外でのぎっしりつまつたスケジュールのなか、非常にご熱心に両方の練習にお付き合いくださいましたことを、心より御礼申し上げます。

シラーの詩は60周年をお祝いするにぴったりのものだと思います。本日の演奏会が舞台の上の人々、客席においての方々双方を歓喜の渦の中に巻き込むであろうことを期待しております。



「市川・第九」実行委員長  
市川市合唱連盟 理事長

## 近藤明子

このかけがえのない地球にすむすべての人々がイデオロギーの違いを越えて心を一つに融け合わせる事ができるのは音楽、とりわけ思いを直接表現できる声を合わせて歌う合唱ではないかと思います。

人々が住んでいるそれぞれの地域で愛を歌い、その一つ一つの地点がつながり輪となって全世界へと拡がりますように。と願いながら合唱活動を続けておりますが、昨年初夏、思いを同じくする市川交響楽団の方々と、市川市市制施行60周年に「第九」をやろう!と意気投合。市川市文化会館の主催のもとさっそく実行委員会を組織し準備に

取りかかりました。中学生以上の第九未経験の市民を一人でも多くと参加を呼びかけ、五月に「市川第九市民合唱団」を結団。以来七ヶ月の練習に団員、指導陣、役員一同苦楽を共にして参り、遂に今日の晴れ舞台というゴールに到達したのです。

世界的指揮者の山下氏をはじめ、一流のプロの方々と、オーケストラ120名、合唱520名と総勢640名のアマチュアと、客席の皆様方とが、この歓喜の歌によって一つに融け合い至福の時を共有できますことを願っております

終りに、この演奏会のためにご協力、ご声援下さいました多くの方々に厚く御礼申し上げます。

# プログラム

L. V. ベートーヴェン

Ludwig Van Beethoven (1770-1827)

「エグモント」序曲 作品84

Overture : EGMONT op. 84

————— 休 憩 ————

交響曲第9番ニ短調 作品125「合唱付」

Symphony No. 9 d-mol op. 125

第1楽章 アレグロ・マ・ノン・トロッポ, ウン・ポコ・マエストーツ  
Allegro ma non troppo, un poco maestoso

第2楽章 モルト・ヴィヴアーチェ  
Molto vivace

第3楽章 アダージョ・モルト・エ・カンタービレ  
Adagio molto e cantabile

第4楽章 プレスト.アレグロ・アッサイ  
Presto. Allegro assai

指揮 山下 一史

ソプラノ 名古屋 木実 アルト 野村 陽子

テノール 近藤 伸政 バス 勝部 太

合唱 「市川・第九」市民合唱団

管弦楽 市川交響楽団・市民有志

# プロフィール



## 指揮 山下 一史

1961年広島県に生まれる。  
1977年桐朋学園高校音楽科に入学。  
チェロを井上頼豊氏に、指揮を尾高忠明、小沢征爾、秋山和慶、(故)森正の各氏に師事。

1982年「第17回民音指揮コンクール」で奨励賞を受賞。

1984年桐朋学園大学を卒業後、西ドイツのベルリン芸術大学に留学して研鑽を積む。

1985年12月よりヘルベルト・フォン・カラヤン氏の亡くなるまで、彼のアシスタントをつとめる。

1986年6月、デンマークで開かれた「ニコライ・マルコ国際指揮コンクール」で優勝。

1988年1月、第14回「若い芽のコンサート」でNHK交響楽団を指揮、ストラヴィンスキーの舞踏組曲「火の鳥」を演奏。衝撃的なN響デビューを飾る。

1990年4月、オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、1992年4月からは1年間オーケストラのパートマネント・ゲスト・コンダクターを務めた。

なお、1993年の秋よりスウェーデン・ヘルシンボリ交響楽団の首席客演指揮者に迎えられ、日本国内のみならず北欧のオーケストラからも注目を集め、今後の活躍が期待されている。



## ソプラノ 名古屋 木実

桐朋学園大学音楽科卒業。  
伊東花子、高橋大海、中山悌一の各氏に師事。

1979年よりミラノに留学、ロゼッタ・ノーリ女史に師事し、研鑽を積む。

帰国後「魔笛」のパミーナ、「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテルを好演し、オペラ歌手としての資質を鮮明に印象づけた。以後、恵まれた容姿と美声で数々のオペラに出演し好評を得ている。1991年、二期会創立40年記念公演「リゴレット」のジルダでは可憐な舞台姿で聴衆を魅了した。

コンサートではNHK交響楽団を始めとする主要オーケストラとの共演も多く、定期演奏会、ニューイヤーコンサートなどで活躍。

その他、NHK「名曲アルバム」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などラジオ・テレビへの出演も多く、日本の歌からオペラ、オペレッタ、ミュージカル・ナンバーまで幅広いレパートリーで活躍している。二期会会員。

## アルト 野村 陽子



東京芸術大学卒業。

畠中更予、平野寿恵子の両氏に師事。

1975年、ベルリン音楽大学を首席で卒業。1976年よりベルリン・ドイツ・オペラ劇場の専属歌手となり数々の著名な指揮者のもとでモーツアルト、ヴェルディ、ワーグナー、ブッチャーニ、R・シュトラウス等のオペラに出演する一方、ドイツ国内をはじめヨーロッパ各地やアメリカの歌劇場に出演。1983年イノホールにて、ハンス・ヒルスドルフの伴奏で初のリサイタルを行い好評を得る他、二期会公演「ヘンゼルとグレーテル」のヘンゼルで日本オペラ界にデビュー。1987年、ベルリン・ドイツ・オペラ日本公演「ワルキューレ」のジークルホーを歌う。1988年、帰国してからは東京グローブ座にて「ハムレット」の王妃(翌年神戸でも再演)、二期会公演「椿姫」のフローラ、京響のマーラー「交響曲第2番『復活』」等の他、数々の第九、テレビ出演で活躍している。

1989、1991年度日本音楽コンクール審査委員。二期会会員。



## テノール 近藤 伸政

東京芸術大学卒業。同大学院ソロ科修了。伊藤亘行氏に師事。

1976年、「オリー伯爵」のカヴァリエロでデビュー。1978年西ドイツ政府給費留学生(DAAD)として渡独。同年12月のシュトゥットガルトにおける「メサイヤ」を始めとし、バッハのカンタータ、モーツアルト「レクイエム」「戴冠ミサ」等在欧期間に500回を数える公演を行う。

西ドイツ国立シュトゥットガルト音楽大学声楽科卒業、同大学リート・オラトリオ解釈課程修了。1980年ドイツ・ワーグナー財団より奨学生を得て、バイロイトの夏のフェスティバルに招待される。1981・82年と続けて日生劇場の招きにより一時帰国、松井和彦作曲のオペラ「泣いた赤鬼」の初演及び連続公演を行う。

1984年1月帰国。その後は多くの二期会公演に出演する他、コンサートの分野でも「第九」「メサイヤ」や「グレの歌」(秋山和慶指揮・東響)、「火刑台上のジャンヌダルク」(若杉弘指揮・N響)等に出演、幅広いレパートリーと澄んだ美しい声を持つ数少ないテノールである。二期会会員。



## バス 勝部 太

福岡教育大学英語科卒業。東京芸術大学大学院声楽科修了。オペラ研修所第一期生修了。1979年10月文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。中山悌一氏に師事。第45回日本音楽コンクール第一位。第7回、第19回ジョー・オペラ賞受賞。1991年度第1回出光音楽賞受賞。1977年労音主催公演ビザー「カルメン」のエスカミーヨでデビュー。翌年、二期会公演ブッチャーニ「蝶々夫人」のシャープレスで一躍注目を浴び、モーツアルト「ドン・ジョバンニ」ではタイトルロールを見事に演じて絶賛を浴びる。その後、数多くのオペラに出演。コンサートでは、バッハ「ロ短調ミサ」、ヘンデル「メサイヤ」、モーツアルト、フォーレ等の「レクイエム」、ブームス「ドイツ・レクイエム」などの宗教音楽はもちろんのこと、マーラーの「子供の不思議な角笛」「交響曲第8番」、ベートーヴェン「第九」等のソリストとして国内のあらゆるオーケストラ、また内外の著名な指揮者と共に演し、常に好評を得ている。

東邦音楽総合芸術研究所助教授。東京芸術大学講師。二期会会員。

# 合唱指導



山本 金雄

1941年、東京芸術大学卒業。全千葉合唱コンクール審査委員。千葉大学教授の傍ら山本指揮教室を主催し東京放送合唱団、京葉混成合唱団その他多数の合唱団指揮者として活躍。

1972年、千葉市音楽協会第50回ペートーヴェン「第九」演奏会指揮(県文化会館、管弦楽: 東京都交響楽団、合唱: 東混・千葉県フェスティバル合唱団)

1973年、千葉若潮固体炬火讃歌

1974年、千葉大学教育学部附属幼稚園園長就任(1979年に至る)

1986年、千葉大学を退官。現在、市川市合唱連盟会長。

\* 合唱指導にあたられた山本金雄先生は今秋より病氣療養中のところ、去る11月23日午前11時に御逝去されました。本日の演奏会に御出席いただけなくなつた事を誠に残念に思い、慎しんで御冥福をお祈り致します。

(実行委員会・事務局)



近藤 明子

武藏野音楽大学卒業。合唱指導を佐々木治、福永陽一郎両氏に師事。

千葉県合唱連盟個人会員、千葉県婦人合唱連盟特別会員、合唱祭等の講評、合唱講習会や講演会等の講師をしばしばとめる。市川市においては地域に根ざした合唱の振興発展に力を注ぎ、市民合唱祭、歌の広場、市川駅コンなどをを行っている。現在、市川市合唱連盟理事長。



島津 勲

1968年、武藏野音楽大学声楽科、専攻科修了。

1978年、ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科を最優秀の成績で卒業。帰国語リサイタルを恩師R・ショルム氏の伴奏で開催。以後、毎年ドイツ歌曲を中心リサイタルを開催。合唱団とのかかわり多いも多く、市川児童合唱団とのマレーシア演奏旅行をはじめとし、ソリストとしてコンサートやオペラに出演している。

現在、学校法人尚美学園東京コンセルヴァトワール尚美総合舞台芸術部門助教授として、声楽の指導や地域文化の推進に力を注いでいる。

日本フーゴ・ヴォルフ協同人、浦安混声合唱団の指揮者としても活躍している。

## ピアノ伴奏

鈴木 珠美

1990年、国立音楽大学ピアノ科卒業。故クロイツァー豊子、篠井寧子、村松庸子の各氏に師事。第20回家永音楽事務所ピアノ・オーディション合格。第35回国立音楽大学ソロ・室内楽定期演奏会。国立音楽大学道庁会千葉県支部コンサート、市川市文化会館新人演奏会、市川市少年自然の家主催「プラネタリウム・コンサート」、千葉県高等学校教員演奏会、市川オペラ振興会主催「スプリングコンサート」「日曜日の夕べ」、市川公民館「音楽ギャラリー」等に出演。

鈴木 直子

武藏野音楽大学ピアノ科卒業。読売新人演奏会出演。新井精、E.ニワ、G.バシヤヘーリ、渡辺規久雄、森安耀子の各氏に師事。1993年「魔笛」、1994年「コシ・ファン・トゥッテ」船橋オペラ教室公演全曲伴奏者。ほか八千代オペラ教室、国府台女声、コーラルリーフ、竜ヶ崎少年少女合唱団伴奏者。

岡田 佳子

国府台女子学院高等学校2年の時、習志野ユースフィルとモーツアルトのピアノ協奏曲「戴冠式」を演奏。翌年、北京、上海でも演奏。

1989年、同オーケストラとモーツアルトのピアノ協奏曲第20番を演奏。

1991年、国立音楽大学器楽科を卒業し、同調会千葉支部演奏会招待演奏。

1993年、コンセルヴァトワール尚美ディプロマコース修了。

小島満里、ウラジミール・竹之内、イーゴ・コッホ、杉谷昭子の各氏に師事。

## オーケストラ練習指揮

斎藤 育雄

早稲田大学ロシア文学科卒業。現在、東京音楽大学指揮専修コース3年に在学中。指揮を紙谷一衛、山下一史、ピアノを南正子、音楽理論を糸井富美子、上江州怜以子、スコアリーディングを上江州怜以子の各氏に師事。

吹奏楽、オーケストラの指揮および歌曲の伴奏で活躍中。

吉田 裕史

1968年生。千葉県国府台高校卒業。現在、東京音楽大学指揮科に在籍し、指揮を汐澤安彦、ピアノを岡藤由希子コントラバスを小野崎充、音楽理論を有馬礼子、糸井富美子各氏に師事。

市川交響楽団、水戸ジュニアオーケストラ、グローバルフィル等の各オーケストラの指揮者、トレーナーとして活躍する他、長岡市民合唱団をはじめとする各合唱団の指揮を務める。オペラの分野においては「カルメン」「ルクレーシア凌辱」等の制作に携わり、昨年「フィガロの結婚」を指揮、好評を博した。現在、乗泉寺吹奏楽団常任理事、船橋市交響吹奏楽団指揮者。'94年ウィーン・マイスターコース指揮セミナー修了。

# 曲目解説

## 「エグモント」序曲 作品84 ..... ベートーヴェン

この曲はベートーヴェン(1770~1827)がゲーテの書いた同名の劇の付随音楽として作曲されました。物語の内容はオランダの英雄エグモントが、民衆の独立のために活躍するというのですが、最後は敵に捕らえられ処刑され、また愛する女性も自害してしまうという悲劇になっています。

暗い感じの和音で始まるこの曲は、民衆の不安、エグモントの戦い、愛のテーマ、処刑の場面を

創造させる旋律が続いますが、作曲者自身は物事をあらわす標題音楽とは考えておらず、劇全体のイメージを序曲形式であらわしたものと考えられています。

ベートーヴェンの序曲にはこの曲のほかに「レオノーレ」、「フィデリオ」、「コリオラン」など多数あり、音楽作品としての「序曲」も得意としていたようです。

## 交響曲第9番 ニ短調 作品125「合唱付」 ..... ベートーヴェン

ベートーヴェンが完成した最後の交響曲であるこの曲は、1817年から1823年にかけて作曲された。全楽章中でもシラー作頌歌「歓喜に寄す」を合唱とした第4楽章はとりわけ有名であり、これまで純器楽作品であった交響曲の分野に初めて声楽を取り入れたという点でも音楽史上記念碑的な作品である。

もっとも、ベートーヴェンは20年代前半にすでに前出の「歓喜に寄す」への作曲を考えていたらしい。彼は、第7、8交響曲完成後新作のニ短調交響曲の作曲に本格的に着手するが、これと平行する形で、合唱付のもうひとつの交響曲の作曲構想を抱いていた。しかし、その過程で、当初純器楽曲として筆を進めていたニ短調交響曲の終楽章を合唱付き樂章として、2つの交響曲を一本化してしまった。こうして、現在私たちが耳にするこの長大な第9交響曲は誕生したのであった。

初演はウィーンのケルトネルト劇場で1824年5月7日に作曲者自身の指揮によって行われた。演奏終了後、聴衆の熱狂的な拍手がベートーヴェンに浴びせられたが、すでに聴覚を失っていた彼にわかるはずもなく、見るにみかねたアルト歌手、

ウンゲルがベートーヴェンを正面に向きなおし、彼ははじめてこの喝采のありさまを目にすることができたという話は、余りにも有名なエピソードである。

第1楽章は、神秘的な和音の響きの中に分散和音が奏され、次第に高潮して行く中で第1主題へと導かれていく。きわめて凝縮され、決断的な第1楽章に対して、あふれ流れるような第2主題はまず木管楽器によって提示され、ヴァイオリンへと受け継がれる。第2楽章は、通例の交響曲とは形式を異にしソナタ形式を含むスケルツオであり、テンパニが特徴的な使われかたをしている。第3楽章は、ふたつの主題による変奏曲形式をとる。最初の主題は木管と第1ヴァイオリンに現れ、もうひとつの主題は、第2ヴァイオリンとヴィオラによって提示される。第4楽章は、シラー作頌歌「歓喜に寄す」に基づくカンタータ形式をとる。人類が歓喜にたどり着く前にはいくつかの試練を乗り越えなければならない。この苦悩を示すために、管楽器群による強奏でこの楽章は始まる。そして何回かの試練の後、苦悩が振り払われ、歓喜へと高まって行く。この表現はベートーヴェンのめざした音楽の集大成というべきものであろう。

# 歌詞日本語訳

## “歓喜に寄す” (日本語訳)

(ベートーヴェンの作詩部分)

おお友よ、この調べではなく もっと楽しく、喜びに満ちた調べを いっしょに歌おうではないか。

(シラーの歌)

歓喜よ、美しい神々の閃光、天の楽園からきた乙女よ、  
我々は、燃えあがり、崇高なところ、おまえの聖なるところへ 足を踏み入れる。  
おまえの魔法の力は 時が容赦なく切り離したものを 再び結び合わせ、  
おまえの軽やかな翼がとどまるところ すべての人々は兄弟となる。

一人の友を真の友とする 大きなもくろみに成功した者は、  
やさしい妻を得ることのできた者は、  
歓喜の声を合わせよ、  
もちろん、この地上で 唯一の魂を自分のものと言うことのできる者も、  
そして、それをできなかつた者は この集いから 泣く泣く立ち去れ、

すべてのものは自然の乳房から歓喜を飲む、  
すべての善、すべての惡は 自然のバラの小径をたどってゆく。

自然は我々に くちづけと、ぶどうと、死の試練をくぐりぬけた一人の友を与えた  
歓喜は虫にも与えられ、そして 光の天使ケプルは神の前に立つ。

壮麗な天界を太陽が飛びぬけていくように喜びあふれ、  
勝利に向かう勇士のように喜々として、駆けよ、兄弟よ、おまえたちの道を！

いだき合え 百万の人々よ、  
このくちづけを全世界に！  
兄弟たちよ、星空のはるかかなたには 唯一の敬愛する父なる神がすんでいるにちがいない。  
君たちは頭をたれ、跪くか、百万の人々よ？  
この世の創造主の存在を思うか、世界よ？  
星空のはるかかなたに彼を求めよ、  
数ある星のかなたに彼は住んでいるにちがいない。

(高橋 圓 記)

# オーケストラ出演者

## 第1ヴァイオリン

今泉 知子\*  
鈴木 薫  
鈴木 淳子  
高野 晃一\*  
竹内 まり  
築比地和子\*  
堂本 祐司  
中渡 宏  
永田 匠  
根守 弘和  
晴山 光子\*  
広浜 浩司  
福原 祥子  
松延 裕子  
横田佐貴絵  
横田富美子  
山田 吉恵\*  
吉田 綾子\*  
渡辺千恵子

## 第2ヴァイオリン

浅見 桂伊\*  
石井 久雄  
石本 恵理  
亀井 玲子  
京戸 友子\*  
鈴木麻衣子\*  
須永 恒雄  
堤 哲児  
萩原紗和子\*  
久田しげ子  
深沢 武夫  
三木美千子

溝田 範子  
村上 葉子  
村田 康代  
安原 直美

## ヴィオラ

浅野さとみ\*  
栗野 結子\*  
岩本 泰  
江田 愛\*  
斎藤十一郎  
高橋 行継  
竹内ひとみ  
武田 俊男\*  
原口 博司\*  
星 乗昭  
松尾 裕子\*  
村上 賢一  
水野 桃子  
若林 繁  
渡部 玲子

## チェロ

池田 寛之  
岩瀬 初子\*  
神戸 敦\*  
倉沢 由和  
沢田 恵子\*  
瀬川 清  
田頭 扶  
沈 静珍\*  
中村 公一  
南明由美子  
樋口 進

福原 耕二  
山口 勝規  
横田 朝之  
渡辺 潔

## コントラバス

池田 和正  
内田 葉子  
菊池 克彦  
鈴木 重則  
宮本 彰  
村上 信乃  
山木 和広  
李 隆子

## フルート

大山ひろみ  
木村 純一  
木村真諭紀  
佐藤 洋行  
笹島由香里

## オーボエ

荒井 淳  
大坪 昌彦  
鈴木 宏子  
二村 直子

## クラリネット

多田 準也  
野村真紀子  
半藤 瞳人  
吉野 智久

ファゴット  
金坂 哲  
小島 厚  
戸川 安道  
吉儀富貴子

## ホルン

河野 和正  
越塚 康央  
近藤 利昭  
鳴村 恒夫  
富岡 美樹  
林田 朋子  
藤井 茂司  
丸田 朗  
山本 恭子

## トランペット

安藤 宣明  
一樹 泰一  
中野 豊  
新井本昌宏

トロンボーン  
久保 昭  
糸 秀樹  
薮崎 裕至

## 打楽器

安藤 祐子  
岩橋 正治  
木村 範子  
都筑 裕

\*特別参加団員

## 「市川・第九」実行委員会

実行委員長 近藤明子（市川市合唱連盟）  
副委員長 横田行雄（市川交響楽団協会）  
実行委員 高橋 圓、時田 剛（市川市文化会館）  
時田 雄（市川交響楽団協会）  
酒井玄枝（市川市合唱連盟）  
長谷川康啓（市川市合唱連盟）

表紙タイトル 丸山青湖

# 「市川・第九」市民合唱団

## ソプラノ

秋山 安恵	大谷まち子	桑原 純子	鈴木 裕深	中村 信子	前田 悅子
浅川 洋子	大塚 包子	河野 幸子	瀬川 麗子	永田 展子	前田 澄子
阿部 活子	大前 幸枝	小島こずえ	関 敏子	南雲 綾子	松丸 琴子
阿部都志子	大屋 和子	小嶋 史江	高田 裕子	西久保宣子	松本都史子
荒井 恵子	小川 祥子	小林 章江	高木 法子	西岡 涼子	松本 明子
安斎 美篠	小川 治代	駒形 菊江	高橋 麻子	西山 和子	鞠子 和子
五十嵐耀子	荻野美也子	小山 敬子	滝口三津子	野口 和子	丸山 亜美
泉 敏江	押元みどり	斎藤しげ子	竹内 久子	野田紀美恵	丸山 京子
井手 章子	片岡 邦子	酒井 玄枝	田澤喜代子	萩原美智枝	丸山美千代
伊藤 文子	可児由美子	佐々木弥生	田中 昭子	橋本 晴美	三富喜美子
井上 啓子	亀田 肇子	澤田 洋子	田中佐喜子	長谷川恵美	三宅 明子
井上 孝枝	河合 育子	宍倉 愛子	田中 豊子	長谷川仁子	宮村 広子
井上美津子	川上かづ子	志閑 恵子	田中みや子	長谷川真弓	村田 喜代
犬塚みどり	川島 博子	設楽 郁子	田中 陽子	畠井 洋子	村山 典子
井畠 妙子	川端 克子	紫波 靖子	田辺かつ代	春川 札子	本山 明子
井料 京子	川又 京子	島田 妙子	谷川 允子	春木 直子	守屋伊久子
岩崎真希子	川村 智子	清水 明子	塚本 恵子	平賀八千代	安田 郁
岩田 摂子	北島 熙子	清水 節子	土本 幸子	平野 明世	山下 伸子
内田 章子	君島由紀子	白木 範子	鶴岡 房枝	平野 史世	山田 治子
梅津 澄子	君塚 輝美	東海林糸子	中沢 和子	藤井 貴子	山田 陽子
榎本 邦子	木村 恵子	庄司 桂子	中沢 冬里	冬木 成子	横田 桂子
江原 容子	久保とき子	須笠原美穂	中島 広子	冬木麻利加	若狭 正子
大島 庸子	熊谷 利子	杉野公三子	中野 かよ	古田 陽子	若森美紀子
太田貴慧子	黒木八千代	鈴木 紫磨	中村安輝子	細金八重子	渡辺 順子

## アルト

秋庭ふみ子	内田アヤ子	風祭 咲子	日下 泰子	塩沢 和子	内匠屋京子
坪 愛子	内田 利子	加瀬 富子	久保 正子	柴田 幸子	竹内 厚子
足立 浩子	内田 幸枝	片岡 貞子	黒阪登志子	清水ユキエ	竹下 恭子
安藤 照子	宇野 法子	片岡 洋子	黒坂 光子	白取 博子	田崎 愛子
飯田 啓子	江口 敦子	加藤 淑子	越川 茂子	白旗佐代子	田崎 京子
幾田 美穂	江沢 京子	加藤 雅子	小菅真理子	神向寺益江	田崎二三江
井草 瞳子	海老原いく子	加藤真理子	此上 葉子	須笠原真理子	田代 利子
池田喜代子	大井 恒代	金島 優子	小林佳奈美	杉山 圭子	田代美香絵
石井 安江	大鋸 好美	金木 育子	小林 慶子	鈴木 孝子	多田小百合
石井 淑子	大草 葉子	金子テル子	小林 順子	鈴木 富江	立原 未緒
石黒 澄子	大久保恵子	鍊田 富子	小松崎幸子	対田志野子	田所美佐子
石田 京子	大塚 和子	河合 佳子	小味渕唯美子	平良 久子	田中 理恵
板橋 洋子	大塚美千代	河内 君子	近藤 和美	平良美乃里	田辺 育
五日市ヒロミ	大西 元子	河内タミ子	今野美智子	高橋かよこ	谷川恵美子
伊藤 恭子	大原 理恵	川上 昌代	後藤 優子	高橋 澄子	谷川 仁美
伊藤 裕子	興津 尚子	神田 伸恵	斎藤 照子	高橋 直子	谷口 公子
岩瀬 知美	奥山 明子	神戸 和子	斎藤美佐子	高橋 信子	谷口 光子
岩田 桃子	小野百登子	菊地 倫子	斎藤 倫子	高橋 久代	常松 公子
岩松希己子	海宝 敏子	木村ひさ子	坂井 米子	高橋みどり	角田 敦子
上田伊美紀	笠原 勝子	木本 幸子	佐藤 和子	滝沢 敦子	徳倉ミチ子
上野由紀恵	風間 松子	京増 初枝	佐藤 泰子	滝本 安美	

富川 洋美	西田 雪江	ビルギット ケーネンカムブ	松原 俊子	宮下 雅子	油谷 愛子
富山 清子	西村 恵子	深谷 朝子	松丸 順子	宮地 和子	百合野恵美子
鳥居 勝子	野口 輝子	藤井 礼子	松丸美恵子	村瀬 恵子	横田久美子
鳥井 總子	野口留美子	藤沢 和子	馬淵 明子	村田裕佳子	横田 玲子
内藤富士子	野瀬富美子	藤田 和子	間部 しほ	百瀬 真弓	吉田 純子
中江由美子	萩野 節子	藤田 和子	丸山 周子	森田 清美	吉田もと子
仲川貴美子	長谷川貞子	古川 陽子	三浦 幸子	森村ひさ子	吉田 陽子
中条 光子	長谷川友子	前川富美子	三上 滋子	森脇 道称	吉村 良恵
中村 佳子	長谷川友子	増田きよ子	溝田 政子	八木 明子	吉本 幸子
中村 幸子	破入 玲子	増田 広子	見谷 静枝	柳 隆子	米原香穂子
中村ヒサ子	浜田 昭子	松尾千代恵	満田 玲子	山内 順子	渡辺 節子
中山 貞子	林 享子	松澤 恭子	三橋 令子	山口 恵子	渡辺里恵子
長瀬千鶴子	平野 恵子	松田 理映	宮内 真弓	山口外季子	
長瀬 千春	平野なみ枝	松田 陽子	宮内 保子	山崎 清子	
永野真理子	広瀬貴代子	松田 陽子	三宅千佳子	山崎 清子	
新納由美子	日和田ふみえ	松塚喜美子	宮崎 栄子	山本 綾子	

## テノール

青木 武吉	岡崎 正春	篠田 要衛	外池 東平	畠田 栄一	松本 良太
秋山 卓宏	岡野 信也	柴田 英二	高山 親典	早川 清	美里 直毅
安藤 敬	小川 幹彦	柴田 忠	田中 雅雄	東谷 義敬	水野 智章
井関 裕義	奥田 浩二	島津 勲	田中 正彦	布川 弘志	南 隆夫
内田 勉	金田 輝夫	菅波 隆城	田川 浩明	藤田 靖美	森田 拓臣
宇野 四郎	吳屋 晃	鈴木じろう	友野 信善	藤原 邦彦	矢口 重夫
海老原幸作	越 茂樹	鈴木 隆	中沢 一紀	本田 利信	安江 寛
遠藤 貴士	佐伯 浩之	築比地 茂	中村 義信	前田 昭郎	矢野 知宏
大野 泰人	境 信孝	高橋 美之	長島 昇	松本 賢志	山口 昇
大原 賢	重松 卓史	田窪 実	沼田 洋治	松本 文郎	吉田 一弘

## バス

會田 吉男	榎本 貞次	島田 修	田中 正之	馬場 玄翔	水戸 健史
青木 賴和	大友 亀男	清水 王人	巽 由紀夫	原 功	三宅 正高
阿部 晃	小川 修平	下条 和一	棚倉 浩一	福井 圭	宮崎 政市
石井 修二	加藤 芳明	杉山 博治	丹野 啓覚	福原 弘士	村上 文和
石井 省二	金杉 武	鈴木 倫敦	長 吉之助	布留川 規夫	望月 慎介
石田 剛	亀 忠夫	鈴木 義宏	砺波 英児	古田 友弘	森川 健作
磯野 重治	亀田 英明	砂田 和郎	遠山 光栄	古屋 和男	諸田 昭夫
磯部 功	河合 朗	高田 峰幸	戸田 茂	古山 雄一	八木 武久
一番ヶ瀬孝幸	神田 春彦	高村 泰弘	鶴田 稔	宝珠山吉彦	安江 寛
岩城 利幸	木下 義雄	鷹野 裕重	利根川 賢	牧内 篤夫	山崎 成昭
上田 望	小嶋 義視	高宮 一彦	中根 茂	増田 義人	山内 茂実
上野 文廉	小松崎 厚	高安 育	丹羽 英一	正代 好克	山中 浩史
上原 伸夫	近藤茂一郎	田崎 幸雄	橋本 明義	丸 貴光	若森建治郎
内田 浩昭	佐久間泰宏	田中 智明	長谷川康啓	道本 潔	渡辺 一郎

## 「市川・第九」市民合唱団役員

団長	長谷川康啓
副団長	酒井 玄枝
会計	中島 広子 宮内 真弓
役員	中野 かよ 中村 佳子 笠原 勝子
	井上 孝枝 海宝 敏子 谷口 公子
	前田 澄子 瀧本 安美 田中 豊子

## 協力団体

浦安第九合唱団  
習志野第九合唱団  
葛飾混声合唱団  
練馬楽友協会合唱団